

一九九六番

天あまの川がは 水みづさへに照てる 舟ふね泊はてて 舟ふねなる人ひとは
妹いもに見みえきや

一九九七番

ひさかたの 天あまの川かはら原はらに ぬえ鳥どりの うら嘆なけま
しつ すべなきまでに

一九九八番

我あが恋こひを 夫つまは知しれるを 行ゆく舟ふねの 過すぎて来くべ
しや 言ことも告つげなむ